

京都市立川岡東小学校 学校教育目標

『仲間とともによりよい社会を創り出す子ども』

～自ら学ぶ力を高め、豊かな人権感覚を育み、心身の健康を保ちながら～

- 自ら学ぶ力**・・・よりよい社会を創り出すためには、先を見据えて思考する力、状況に応じて判断する力が必要となる。そのためには、考えるための知識や経験を充実させ、疑問や課題が持てる力とその課題や疑問を解決していこうとする主体的な姿を高める必要がある。そして、獲得した知識や経験を活用して表現し、その表現した経験からまた新たな疑問や課題へとつなげ、探究していく力を高める。
- 豊かな人権感覚**・・・よりよい社会を創り出すためには、一人の力では創造することは難しい。豊かに人とつながり、同じ志を持ったものとの関係を深めることで、よりよい社会の構築につながる。そのためには、人権が尊重されていることの「妥当性」を肯定し、逆にそれが侵害されていることの「問題性」を認識して、自分や他者の人権を守ろうとするそのための実践的行動につながる力を育む。
- 心身の健康**・・・よりよく生きるためには、心も体も健康でなければならない。よりよい生活習慣を構築できるように自らの命や体を大切にできる心情を育み、実践できる自立心を養う。

## ○めざす子ども像

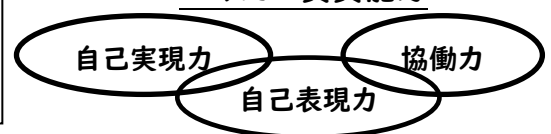
すべての教育活動を通じて、人としての礎を築く。学ぶ意欲を高め、主体的に追究していこうとする姿勢を育み、子どもの個性と可能性を引き出し、社会の中でよりよく生き抜く力を育成する。

- ① すすんで学習にとりくむ子(知) ② 思いやりのあるやさしい子(徳) ③ 心も体もたくましい子(体)

### 具体的な姿

- ◎意欲的に学習に取り組み、仲間との課題追究を楽しむ姿  
◎自らあいさつができ、いつでもはきものがそろえられる姿

## つきたい資質能力



## ○めざす学校像

たくましく社会を生き抜くことができる子どもを育むことを第 1 に考え、地域の特性を踏まえ、地域の中で、地域とともに歩むことができる学校づくりをめざす。

地域が誇れる学校をめざして

- 地域と共に、地域と歩める学校
- 地域の特性をとらえ、地域に中に存在感のある学校
- 学校が地域の宝となれる学校

『挑戦発展』の精神で  
ちゃんとやりきる川岡東

○学校教育目標の具現化にむけて★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

知(学習機会と学力向上の保障)徳(全人的な発達・成長の保障)体(身体的・精神的な健康の保障)を一体的に育む学校教育の創造

1 知(確かな学力にむけて)

自分の良さに気づき、豊かに人と関わる子をめざして、各教科における言語活動の充実を通して、言葉を大切に、仲間とともに豊かに交流できる子どもの育成を推進する

## 2 徳(豊かな心の育成にむけて)

さまざまな仲間との交流を通して、自他の命、生き方、考え方を尊重し、人権文化の担い手を育成する

### 3 体(心身の保持増進に向けて)

心身の健康に関する意識を高め、生活習慣の確立とともに、積極的に運動機会を取り入れ体力の向上を図り、安全で安心な生活を推進する自己管理能力を育成する

#### 4 開かれた学校づくりにむけて

学校の取組を積極的に配信するとともに、学校と地域、学校と保護者の連携を高め、協働推進できる学校づくりをめざす。

## ○教科担任制や交換授業の実施

- ・3年生以上、教科担任制を導入しています。また、学年の中で受け持ち教科を決定し、専科教員も含めて学年で学年の児童を育てていきます。学級担任として設定はしていますが、学年どの教員に相談いただいてもかまいません。
- ・1・2年生は、学年での学習を積極的に導入したり、道徳において、交換授業を行ったりして、学年で学年の子どもたちを育てます。
- ・低・中・高学年での連携を密にして。時には2学年での授業や交流を積極的に取り組んでいきます。

## ○電話対応時刻として（別紙配布プリント 中学ブロックで統一）

- ・働き方改革の観点からも、今年度は、午前8時から午後5時30分とします。
- ・すぐ〜る（メール配信システム）も有効活用して、家庭との連携を図ることができればと思います。



## ○校時表について

- ・全学年R6年度と同じ時程で進めていきます。（別紙 校時表および基礎時間表）
- ・火曜日の6校時（および1年の水曜5校時）の枠（フレキシブルタイム）は、必要に応じて、補習や居残り学習など保護者と連携のもと活用枠とします。
- ・月曜日、木曜日を短縮校時として運営し。放課後の時間を確保し、教職員の研修機会や連携機会に活用します。

## ○学期初めの校時にかかわって

- ・給食開始から当面の時間を5時間授業として実施し、学校生活への移行をスムーズに行っていきます。

## ○読聞かせサークル「おひさま」について

- ・毎週木曜日の読書の時間に実施していただきます。
- ・木曜日 1年生・2年生・なかよし（2年生やなかよしはおひさまの計画に沿って）



## ○家庭訪問、個人懇談会時の取り組みについて

- ・家庭訪問は4日間（予備日1日5時間授業） 個人懇談会も4日間実施します。
- ・家庭訪問は4月末から5月初め、個人懇談会は、年2回（夏休み、冬休み前に）行います。

## ○運動会にかかわって

- ・全校実施し、開会式、閉会式も行います。競技や演技は各学年3種目とします。
- ・3色対抗として実施していきます。



## ○学習発表会について

- ・全校で実施し、午前中実施を原則とします。11月中旬以降に計画しています。
- ・各学年及びなかよしの発表、開会式や閉会式の実施及び感想等交流の時間を設定し、言語による交流機会を大切にしていきます。

## ○マラソン大会について

- ・体育科の発表機会として12月に計画し、1〜4年は学校敷地内で、5・6年は牛ヶ瀬公園で開催します。

## ○部活動の見直し

- ・中学校部活動の地域移行など取り組みの見直しに関わって、小学校も検討していきます。
  - ・今年より月2回の活動とし、活動日は、水曜日のみとします。
  - ・15:45〜16:30を活動時間として、16:40には下校できるようにします。
- 実施内容は、青い鳥（3〜6年） サッカー・陸上・バスケットボール・バレーボール・卓球（4〜6年）
- ※原則、1つの種目のみ。京キッズRUN参加の6年生については、別途参加を募ります。



## ○スキルアップデー（小）

- ・第4金曜日（4・5・6・9・10・11・1・2月）を全市小学校において、放課後の教職員の研修の機会として5時間授業とします。

⇒詳しい学校経営方針は、HPを参照ください。



# 令和7年度 校時表 京都市立川岡東小学校

	月	火	水	木	金
8:30	朝会		フッ化物	読み聞かせ	
8:40	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
8:50	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
	1	1	1	1	1
9:35					
9:40	2	2	2	2	2
10:25					
10:45	中間休み	中間休み	中間休み	中間休み	中間休み
	3	3	3	3	3
11:30					
11:35	4	4	4	4	4
12:20					
	給食	給食	給食	給食	給食
13:05					
13:25	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:35	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
13:45		パワーアップタイム	フレタイム		パワーアップタイム
13:50	5		5	5	5
14:20		5			5
14:35	帰りの会				
14:40	6 6	帰りの会		6	
15:10	クラブ委員会	フレキシブルタイム	6		6
15:25			帰りの会	帰りの会	帰りの会
	放課後まなび		放課後まなび		放課後まなび
			部活動 15:45～16:30		
16:30 下校					

冬季4:00下校(11月・12月・1月)

# 令和7年度の基礎時間割

【京都市立川岡東小学校】

## 1 年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	フレキシブル タイム	○	○
6					

## 2 年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6		フレキシブル タイム			

## 3 年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6		フレキシブル タイム	○	○	

## 4 年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	クラブ	フレキシブル タイム	○	○	○

## 5 年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	クラブ 委員会	フレキシブル タイム	○	○	○

## 6 年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	クラブ 委員会	フレキシブル タイム	○	○	○

※クラブ・委員会は月に1回ずつ実施。5・6年については、月2回は通常学習。

※フレタイム・フレキシブルタイムは補習や個別学習、補充学習など柔軟に活用する。